

## 銀座街づくり会議

〒104-0061 東京都中央区銀座4丁目6-1 銀座三和ビル3F

PHONE: 03-3567-1535 ● FAX: 03-3563-0236 ● <http://www.ginza-machidukuri.jp>

● このNEWS LETTERは、全銀座会会員、銀座街づくり会議関係者の方々にお送りしています  
● 本誌の内容を、許可なく無断で複写・複製および転用・転載することを禁じます

銀座・秋の催事「オータム・ギンザ2010」期間中の11月2日、シテ・ドゥ・タン・ギンザにて、銀座デザインフォーラムのシンポジウムが開催されました。第8回で最後となる「銀座スペースデザイン学生コンペティション」の

これまでの受賞作品の写真が展示された会場には、約160名の方々が集まり、講演とパネルディスカッションを聞きました。

オータム銀座2010 銀座街づくり会議シンポジウム

## { 「街は人を育てられるか ~銀座の実験~」 }

### 銀座の価値とは？

中央区副区長の吉田不曇さんから「銀座の価値とは？」というタイトルで基調講演をいただきました。銀座の価値は、雰囲気や銀座らしさを総合したもの。そして吉田さんにとっての「銀座らしさ」とは、本物がある街であるということ。次に全部が単一ではなく通りや丁目ごとにそれぞれが個性を持っていること。それらの個性が集合体となって全体の価値を形成し、より魅力的になっているのです。もうひとつ大事な価値は、銀座が変化を受け止める街であるということ。ただし、銀座らしい変化を求めています。

中央区と銀座は、1998年からさまざまな議論を積み重ねながら「銀座ルール」をつくってきました。現在、銀座デザイン協議会が新しい建築や広告を地元目で確認していますが、このように全銀座会や中央区が「銀座らしさ」について継続して話し合いを行っていることが銀座の価値を守り、発展させていくことになるのではないのでしょうか。

しかしそんな銀座も、吉田さん自身が子供の頃に抱いていたような銀座へのあこがれや夢を、今の子供たちに与えることができているのでしょうか。やはり子供たちが夢や希望を持てる町にできるかどうか、将来に向かってとても大事なことです。

「20世紀は山に登って都市を作った時代。21世紀は海に戻って環境を良くする時代」と吉田さんは言います。すぐそばに海をもつ銀座はもっとその特性を生かしてもいいのではないかと。そして銀座には、銀実会のように「銀座の価値」を継承する若手の会があるから大丈夫、銀座の発展を確信している、と話を終えました。

### 大学、銀座、そして世界へ

第8回を迎えた銀座スペースデザイン学生コンペティシ

ョンは、今回をもって最終となります。街が若者を育てる、というコンセプトのもと、この8年間に6つの美術大学の数千名の学生さんたちが銀座を調べ、歩きまわり銀座のお店のショーウィンドウを提案してきました。そして12の店舗が学生さんたちの思いを受け止め、実際のウィンドウで作品を実現してきたのです。パネルディスカッションでは、学生たちを指導してこられた先生方が、このコンペの意義について語りました。学生が銀座のショーウィンドウを実現するという企画は企業にとっては新しいことに挑戦する勇気を与えました。銀座は伝統と同時に革新の街。学生のエネルギーと感性で、今まで見たことのないウィンドウをつくってほしい、という期待を持っていました。

大学にとっては、学生がプロの方と一緒に銀座で作品を仕上げることにより、大きな夢と成長を与えることができました。また違う大学の学生同士の交流も糧となりました。コンピュータが発達した今、学生が立体物に身体を使って取り組む経験が少なくなっています。それは長い目で見れば、世界に冠たる銀座の美しいディスプレイやファサードのデザインを退化させることになりかねません。そういう目をもって若者を育てることが実は銀座の繁栄にもつながるのではないかと提言されました。

銀座スペースデザイン学生コンペティションは終わりますが、銀座は今後も大学と連携して銀座が若者を育てそのことによって街が活性化するようなプロジェクトを行っていきたいと考えています。



このシンポジウムのDVDを貸し出ししております。ぜひ町会や各店舗での勉強会などにお役立てください。また、議事録冊子も完成次第、ホームページで公開いたします。もう少々お待ち下さい。